

あすなろ作成委員編集担当 松下

運動会・体育祭が終わりほっとしたいところですが、陸上記録会や音楽祭・作品展の作品づくりと忙しい毎日が続いていると思います。健康に気をつけ2学期を乗り切っていきましょう♪

今号から『市町村より』のコーナーを新たに設け、今年度行っている活動について報告していただきました。第3号・第4号でも掲載を予定しており、全市町村の掲載を計画しています。ご協力をよろしくお願いします。

第47回 高知県公立学校事務研究大会（南国大会）に参加して

黒潮町立大方中学校 主事

午前中は、高知市の学校事務ランドデザインについて、プレゼン等での説明があった。平成22年9月から、約4年にわたる取り組みを経て完成された高知市の学校事務ランドデザインは、事務職員はもちろん、他職から見ても、学校事務とはどういったものか、学校事務の重要性等、とても分かりやすく簡潔に記載されたものになっていた。また、協力支援体制の図もあり、学校事務の質の向上は学校の総合力向上に繋がること、最後のページには、学校事務職員の役割が記載されており、事務職員として、どうするべきか、どうあるべきか進むべき方向性も見えていて、とてもすばらしいものになっていた。各市町村でも、高知市のような学校事務ランドデザインを発行できれば、他職への学校事務についての説明や理解、また、若年職員のOJT等、あらゆる場面で活用ができ、学校事務の均質化、質の向上に繋げていけると思う。

午後からは、プレゼン、シンポジウムを行い、これまでの学校事務のこと、そしてこれからの学校事務の課題を提議し、学校事務としてこれから自分がやってみたいこと、それをやるにあたっての課題をグループ内で出し合い、個々の取り組みや課題について話し合った。様々な課題をどのような取り組みをすれば解決できるか、個人や市町村での取り組み、また、研修で学んだこと等の情報交換を行う中で、『そんなやり方もあるのか』と新たな発見もあり、とても有意義なグループ討議となった。

今回の研修を終え、これからの学校事務の課題を再確認できたとともに、自分自身の課題も見えてきた。今までこれほどまでの課題に気づけなかったことを情けなく思う反面、課題が見え、自分がやるべきことが明確になり、これまで以上に向上心を持ち、積極的に業務に取り組めるようになった。

しかしながら、不安に思うことも多々ある。大きな世代交代を迎えたとき、はたして自分は先輩方からしっかりとバトンを受け継いでいけるのか。また、チーム学校を推進するための重要な立ち位置にいる事務職員である自分は、どのような取り組みをしていくか。時代の変遷に伴う教育を取り巻く環境の変化、複雑・多様化する学校の課題に事務職員として、学校としてどう直面するか。その他にも課題、不安はあるが、今自分ができる限りのこと、やるべきことをしっかりとし、これからの自分、これからの学校事務に繋げていきたい。そして、課題、改善意識を持ち、適切な情報を収集し、管理職とともにこれからの学校事務がどのように変わり、地域とともにどう進んでいくのかを常に創造していける、また、学校事務の専門職員として、教育の向上に貢献できるようになりたい。



研究部よい



第48回(H28)県事研夏季学習会での報告は幡多支部が担当します！

県事研夏季学習会は、来年度の開催が最後になります。幡多支部が大トリを務めます。その理由としては、各支部単位（研修会等）、各ブロック単位（共同実施等）での活動がずいぶん充実してきたことなどがあげられます。・

これまで開催されてきた夏季学習会も一定の役割を果たすことができた判断されました。県事研からの提案として持ち帰り、先日の支部研究会の中で話し合いました。11月13日に開催される県幹事会で正式に決定される見込みとなっています。

【現在までの経過】

研究部では夏季学習会に向けて新しく何かを研究するのではなく、今まで幡多支部が取り組んできた学校経営の手引きを中心に発表することにしました。

当日の発表は、全体提案として「学校経営の手引」（全8項目）のプレゼン発表、その中で1つをピックアップした実践発表、最後にグループ研修で、みんなで話し合いを持つという形で計画しています。

研究部では、現在、「学校経営の手引き（事務職員版）」の新たな4項目「危機管理」「学校評価」「学級編制」「財務」について研究を継続しています。そのうち、「危機管理」については2月の支部冬季研でプレゼン発表やグループ協議をしました。

「学校評価」「学級編制」「財務」は、先日の研究部会でプレゼン発表を行いました。これらは支部冬季研の中でそれぞれ発表する予定です。

平成22年に完成した「学校経営の手引き（事務職員版）」にある4項目「教育課程」「学校行事」「研修」「調査」とあわせた、合計8項目について検討した結果、夏季学習会での実践発表（ピックアップ項目）は「財務」に決定しました。

【各ブロックへのお願い】

先日、研究部長より、各市町村代表者宛に財務についての実践の紹介について協力依頼があったと思います。「財務」の実践発表を充実させていくためにも、幡多郡内すべての市町村の実情・取り組んでいる内容を集約していきたいと考えています。

研究部だけではなく、「オール幡多」で取り組み、より良い実践発表につなげていきたいと思っておりますので、ぜひ、ご協力をお願いします。



はたっぴ〜れぽ〜と

毎月1回の研究部会では幡多郡内各市町村の活動の情報交換も行っています。
その内容の報告を「はたっぴ〜れぽ〜と」と題してお知らせします。



平成27年7月24日(金)

○研究部員は現在26名、全体会と4つのグループ(「研修」「研究」「給与の手引き」「服務の手引き」)で活動しています。

研修グループ

年2回の幡多地区の研修会の企画を行います。

次回の冬季研修会は2月5日午後半日日程で、四万十市中央公民館大ホールで行います。

研究グループ

幡多は平成28年度県事務研夏季学習会の全体研修を担当します。(夏季学習会はこれで最後で、29年度からは隔年で県大会のみとなります。)

幡多で作成している「学校経営の手引き～事務職員版～」を元にした、研修内容を考えています。

給与の手引きグループ

配布している手引きの改訂版を3月に発行します。

服務の手引きグループ

配布している手引きの見直し、改訂を行います。

○各市町村の共同実施に関する情報交換

宿毛市

グループごとの事務便り発行、教育委員会と就学援助について協議、グループ員で沖の島小支援をおこなった。グループでの活動が充実しています。

四万十市

学校事務支援室の取り組みとして、児童手当現況届けの審査、審査状況の報告をおこなった。未配置校を対象に情報共有のため、通信「繋ぐ」を発行している。教育委員会との連携や、市全体での取り組みが行われています。

黒潮町

町教研での町の全教職員向けプレゼンテーション(学校予算について)や、4名の新規採用教員向け「学校事務」研修を一括しておこなった。
一致団結した、いい雰囲気を感じます。

土佐清水市

閉校(窪津小)支援、臨時籍校支援をおこなった。
拠点校清水中を中心に市の課題解決をはかっています。

○その他の情報交換

大阪府で採用後、2年で退職し、高知県で新規採用となった教員の事例

- ・年休は割愛職員と同様
- ・退職手当は大阪期間を通算
- ・3年次として研修を受ける
- ・期末勤勉手当の算定期間は4月から



はたっぴ～れぽ～と



平成27年8月27日(木)

○28年度 県事研夏季学習会に向けて

来年度8月にある県事研夏季学習会では、幡多支部が研修のコマを担当します。今回その研修の内容について検討をし、「**学校財務**」に決定しました。

現段階では、学校財務についての全体提案・実践発表・グループ討議の形を考えています。

実践発表では幡多支部全体から工夫している取組や実践例などを集めよう、ということになりました。どうぞご協力ください。

○「学校経営の手引き～事務職員版～」

平成22年11月発行版以降、「学級編制」「学校評価」「危機管理」「財務」の4つの分野について、手引きの作成をしていますが、まもなく完成となります。2月の研修会で、みなさんに配付の予定です。



○各市町村の共同実施に関する情報交換

四万十市

教科書システムについて、通知文書を熟読のうえ処理をするように再確認しました。「宝塚ブスの25ヶ条」...そんな話題があったそうです。

(検索してみてもは・・・)

黒潮町

8月の町教研の場で、「黒潮町の学校予算の仕組み」のプレゼン発表をした。教育活動と予算はつながっているという部分を伝える内容でした。また、備品管理規程(案)の提示が町教委よりありました。⇒9/1より施行

町内統一のレイアウトのHPが開設されました。

宿毛市

沖の島支小支援...備品整理・点検、文書整理・廃棄などをしてきました。

土佐清水市

窪津小が8月末で休校となりました。

臨時籍校(中浜小・足摺小)の支援も行きました。

事務部会では、備品管理規程・文書管理規程の整備後、日々の疑問点や意見などを出し合い、改善していこうと考えています。

○県大会(南国大会)に参加しての感想

- ・若い人たちの活躍ややる気が見られた反面、中堅の人たちに目的意識が見えないように感じた。
- ・新採の方も自分の意見がはっきり言えていて、共同実施、支援室での育成を成果が見える。逆に共同実施体制のない地域の育成には、不安も感じる

- ・高知市のプレゼンは工夫されていて良かった。

- ・グループ研修は時間が足らず、課題解決まで行けなかったのが残念

- ・シンポジウムは、運営側の意図が強く感じられ、違和感があった。6地域の支援室がどう機能するか、どんなふうにしていくことが良いのかなど、討議する場としてほしかった。





四万十市より



今年度、四万十市共同実施組織で行っている取組を一部紹介したいと思います♪

●月別チェックシート

4月	通勤住居届	請求漏れはないか、最短経路、申請書類等
5月	連絡指導手当	全校の主任手当該当者の確認、予定される特殊業務手当対象の行事の把握等
6月	赴任旅費請求確認	転入及び新規採用者の請求漏れはないか、該当者の再確認、提出済み書類を一緒に確認する
7月	諸手当認定書整理等	書類の整理及び個人別支給台帳の作成点検
8月	文書処理状況確認	校内の文書処理の流れの再確認、文書ファイル及び廃棄文書の整理状況
9月	予算支出状況等	予算支出状況の相互確認
10月	税控除	各種控除申請書について相互チェック
11月	学校預かり金関係等	学級会計やPTA等準公金に係る会計の相互チェック
12月	備品台帳関係	購入備品の登録等備品台帳の整理状況、備品照合及び廃棄手続状況
1月	理科教育振興備品等	購入備品の登録等備品台帳の整理状況、備品照合及び廃棄手続状況
2月	文書処理状況確認	年度末整理、翌年度のファイル準備状況
3月	異動関係確認	異動関係書類の確認、事務引継について、年度末整理及び年度始めに向けて

→ 地域共同実施日に各地域でその月のチェック項目を強化して確認し合っています。確認時に気がついたこと今後改善することや有効な方法等は、記録に詳しく記載し共同実施日に全体で情報交換を行っています。

●諸手当個人別支給一覧表

諸手当個人別支給一覧表 (現行 支給分)		入力年月日	学校名	大川筋中 学校	職員番号
		現在支給されている金額を入力 支給されていない場合は0円を選択	平成10月20日	現在	氏名
手当名	認定内訳等				
通勤手当	認定月額(円)	通勤距離	数字を入れたら Kmも表示される	支給始期	入力例 H27年4月
	13,000	扶養親族(続柄・氏名)	生年月日	支給始期	配偶者有無 年齢加算の有無
扶養手当	6,500	妻・四万十 榎子	昭和52年1月7日	H23年11月	有 無
		長女・四万十 榎子	平成10年9月18日	H10年10月	有 無
児童手当	認定月額(円)	扶養親族(続柄・氏名)	生年月日	支給始期	
	10,000	長女・四万十 榎子	平成10年9月18日	H10年10月	
住居手当	認定月額(円)	住居の種類		支給始期	
	25,000	職員の借家・借間		H24年4月	
へき地手当に準ずる手当	認定月額(円)	支給対象勤務年数		支給始期	
		現在支給されている金額をリストから選択			
単身赴任手当	認定月額(円)	距離	数字を入れたら Kmも表示される	支給始期	

* 毎年4月の支給額で作成（5月給料調書で確認）。

* 変更があれば、その都度作成。

* 現行支給分について本人に確認してもらおう

* 手当支給終了後も5年間保存し、5年経過したものはその時の所属にて廃棄。

作成後支給されている手当
について本人に確認して
もらいましょう

本人確認済み

年 月 日

→ 四万十市全体で統一した諸手当個人別支給一覧表を作成し、自分の手当について職員にしっかり確認してもらいました。そして、7月の地域共同実施日でチェック項目（諸手当認定書整理等）を確認する時に、諸手当個人別支給一覧表・認定書類・給料調書で照合を行いました。



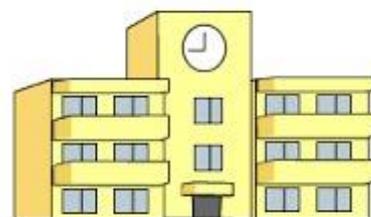
また、四万十市では共同実施の新たな可能性を見出す取組みも行っています。昨年度から学校事務支援室の提案により、下記の「ねらい」をもとに5つの地域共同実施組織の具体的な取組みとして、3つの項目から必ず1つ以上行うことになっています。

ねらい

- ・ 事務職員としての視点を反映させる。
- ・ 事務職員の専門性を生かす。
- ・ 提案型の職務遂行する能力を身に付ける。

具体的取組

- ① 学校経営への参画に関すること。
- ② 事務システム改善に関すること。
- ③ 小・中連携に関すること。



取組内容としては、、、

中央地域…学校評価の項目を検討等。

西部地域…校務計画の内容検討等。

南部地域…学級集金方法の統一等。

北部地域…教育計画・研究集録への事務部経営案掲載等。

西土佐地域…校長・教頭・養諭・事務職での小中連携共同実施等。

このように、各地域様々な内容で取組みを行っており多くの成果を挙げているところです。



以上、四万十市よりでした♪



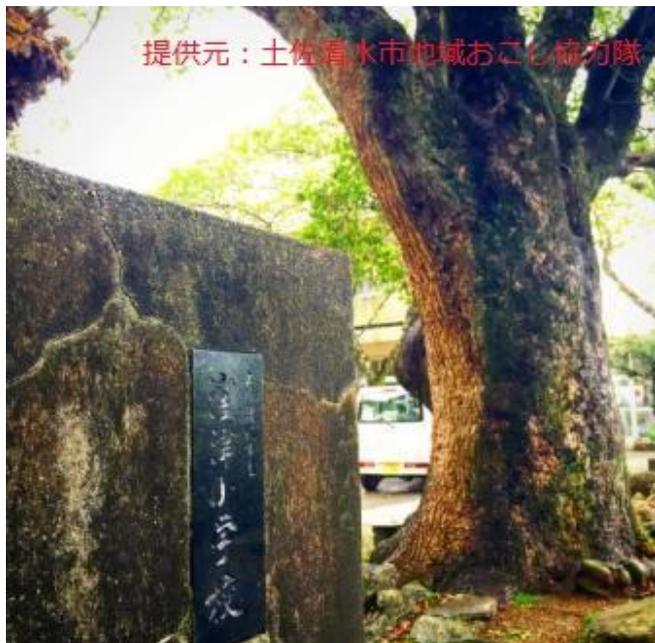
土佐清水市より



土佐清水市立清水中学校

8月31日に窪津小学校が休校になりました。お別れ会があり、保護者の方や土佐清水市地域おこし協力隊の方も来校しました。皆さんと一緒に最後の児童は校歌を元気いっぱい歌っていました。その後は、図書室で会食をし、学級担任と最後のおわりの会を行いました。最後に帰って行く児童の背中はとても寂しそうでした。

私もその日は、窪津小学校の共同実施に行っていました。二階で仕事をしていた私は楽しそうな声を聞くのと同時に、これからこの学校はどうなってしまふのだろうと何とも言えない気持ちになりました。



そして、9月30日職員が出勤する最後の日です。その日の窪津小学校はとても静かで、本当に学校が終わってしまうような雰囲気の中仕事をしました。休校支援を何度も行い、清水小学校への備品移管もスムーズに行えました。休校になっても、まだまだ、やることはあります。少しでも自分の力を生かせるよう支援していきたいと思っています。

現在土佐清水市では、出張伺いと職員名簿の様式改善と、教職員向け事務の手引きの作成を行っています。様式改善については来年度末には新様式になるよう検討しています。



